

ふるさと・キャリア教育に関する系統的な取組の推進について (案)

鳥取県における「ふるさと・キャリア教育」のめざす人間像

1. ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材
2. 鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させようとする意欲や態度を身につけた人材
3. 社会の変化に対応しながら新たな価値を創造することができる人材
4. 自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材

学 校

連携・協働

保護者・地域・社会

◇幼児教育施設 (幼稚園・保育所・認定こども園等)

【0歳から就学前】

- 地域の特色を生かした遊び
- 身近な自然や文化・伝統に親しむ遊び

ふるさと教育の視点

◇小学校及び特別支援学校 小学部

【1、2年生】

- 生活科
- 社会科

【実践例】「学校のまわり」「水はどこから」
 ○特別の教科 道徳
 ○総合的な学習の時間
 ○特別活動 (学校行事等)、土曜授業等

【3、4年生】

- 社会科

【実践例】「情報産業とわたしたちの暮らし」
 「自然災害を防ぐ」
 「わたしたちの暮らしと政治」

【5、6年生】

- 社会科

【実践例】「歴史の調べ方 まとめ・発表の仕方」
 「身近な地域の調査」
 「これからの食糧生産とわたしたち」

- 特別の教科 道徳
- 総合的な学習の時間
- 特別活動 (学校行事等)、土曜授業等

※2年生のみ
 総合的な学習の時間の中で職場体験
 【新】【ふるさと企業読本 (仮称)】の作成

全県で統一したビジョンにより推進

地域とともにある学校づくり

学校、保護者、地域住民等が
 ・教育の当事者となることで、責任感を持ち、積極的に子供への教育に携わる。
 ・学校運営や教育活動へ参画することで、子どもたちの学びや体験を充実させるとともに、大人の自己有用感や生きがいに繋げる。
 ・顔が見える関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営を推進する。

社会に開かれた教育課程

コミュニティ・スクール

地域学校協働活動

体的推進

・地域住民、学生、保護者、PTA、NPO法人、民間企業、各種団体の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える。
 ・地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える。

学校を核とした地域づくり

小・中学校・各市町村で独自の取組を実施
特別支援学校 小学部・中学部・各小学校で様々な取組を実施

高等学校・特別支援学校高等部・各小学校で様々な取組を実施

◇高等学校

◆全県立高校でキャリア教育全体計画に基づいた事業を実施
 → キャリア教育充実事業を実施し、生徒の社会的自立に必要な能力等を育成

【内容】 社会人講師による講演、地元事業所訪問、地域貢献活動、インターシップ等の実施

<普通学科>

○総合的な学習 (探究) の時間、特別活動等

【実践例】 探究型プロジェクト学習

<専門学科>

○課題研究、関連する教科・科目等

【実践例】

・テクノボランティア (工業科目の技術

技能を生かした地域貢献活動)

・地域食材の活用と商品

<総合学科>

○産業社会と人間

○総合的な学習 (探究) の時間、特別活動等

【実践例】

・青谷学 (青谷の探究学習)

・米×米プロジェクト

(米子市中心市街地活性化探究学習)

◇特別支援学校高等部

◆全県立特別支援学校において、個別の教育支援計画を作成し、障がいの状況等に応じたキャリア教育を実施
 【実践例】

・就労促進セミナー、福祉セミナーの実施 (各圏域)

・鳥取県特別支援学校技能検定の実施

夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、将来ふるさと鳥取県に貢献する気風を持つ生徒に成長

→ 卒業 (進学) の際に「とっとり学生登録」への登録

【目標】 100名

キャリア教育の視点

愛着をもつ
自分の住む地域のすばらしさや魅力を伝えることで、地域への愛着を育む

考える
自分の住む地域をどう発展させていくのか、地域に貢献するために自分ができることを考える

行動する
地域社会や地元企業に対する理解を深め、自分の生き方を考える中で、自己の生き方を確立し、ふるさと鳥取県に貢献する

生き方を確立する
ふるさとに誇りを持ち、これからの鳥取県の未来を考え、貢献しようとする心を養うとともに、社会における自らの役割と将来の生き方を確立する

「キャリア・パスポート」(児童生徒が活動を記録し蓄積する教材等)を軸に、「人(つながり・絆)」、「物(自然・文化・歴史)」、「仕事(金)」を系統的につなぐ

◇地域等と子どものつながり

- 子どもが、地域の大人の多様な価値観に触れる取組や多様な体験活動を通じて、地域に対する興味・関心、愛着をもつ
- 地域や大人が、地域の学校や子どもに対する関心をもつ

【学校で】

○郷土学習・ふるさと学習・地域の自然を学ぶ学習・キャリア教育 (地域での職場体験)

○体験活動 (高齢者施設でのボランティア体験、自然体験等)

○学校支援 (花壇整備、登下校見守り、あいさつ運動、読み聞かせ等)

【地域で (公民館・子ども会等)】

○地域行事への児童・生徒の参加・企画 (まつり、運動会、防災訓練等)

○伝統文化・芸能の継承・保存

○体験活動 (キャンプ・職場体験・各種教室等)

○リーダーとなる子どもの育成 (県子ども会育成連絡協議会主催のジュニアリーダー研修、公民館主催のリーダー研修等)

○まちづくりへの参画 (地域課題解決学習、防災マップ作成、地域の特産品づくり等)

【新】【鳥取発ミリオク発見！親子でおしごと体験ツアーの実施】

【新】【中学校でのワークショップ (トークセッション) の実施】

○「とっとり県民の日」の行事

◇社会教育関係者等の人材育成

➢ 学校教育と社会教育の連携・協働等を推進するため、人材の育成を行う

【新】【「鳥取県地域コーディネーター」の養成】

・地域人材、公民館職員、学校関係者 等

【継】【公民館職員研修、社会教育担当者研修 等】

◇自然体験活動の推進

➢ 青少年社会教育施設等での自然体験活動を通じて、子どもの自己肯定感を醸成、ふるさとへの理解を深める

(星空観測、キャンプ、登山、スキー、自然観察等)

※特別支援学校 (幼稚園・小学部・中学部) においては、幼児教育施設、小学校及び中学校に準じた取組を各学校で行うとともに、児童生徒の居住地校及び学校周辺校において「交流及び共同学習」を実施している。

県 家 庭 教 育 推 進 協 力 企 業 に よ る 協 力 支 援

「ふるさとキャリア教育」の推進について

小中学校課、社会教育課

<事業内容>

○鳥取県における「ふるさとキャリア教育」の意義を明確にした上で、校種間で系統的な学びができるように、教職員への周知を図るとともに、家庭や地域、産業界と連携した取組を推進する。

(1) 「ふるさと企業ガイド（仮称）」の作成とウェブページの作成（6月補正要求中）

- ・ふるさとで活躍している企業の情報や社会科見学が可能な企業の一覧、ガイドを活用する際の指導案等をまとめた「ふるさと企業ガイド（仮称）」を作成し、小学校での社会科見学の受け入れ先の選定や中学校での職業調べ及び職場体験学習の事前、事後指導等の充実、高校における職業選択やインターンシップ等に役立てる。
- ・「ふるさと企業ガイド（中学・高校版）（仮称）」の情報等を掲載したウェブページを県教育センターの学校教育支援サイト内に作成し、児童生徒が調べ学習等で主体的に活用できる環境を整える。

(2) 教職員を対象とする「ふるさとキャリア教育」研修会実施（6月補正要求中）

- ・「ふるさとキャリア教育」の意義やキャリア・パスポートについて周知を図るための研修会を実施することで、教職員の周知・理解を図る。
- ・キャリア・パスポート活用事例等を示した資料を作成する。

(3) 校種間の取組をつなげるための系統表の作成

- ・幼稚園・保育所・認定こども園から高等学校までの「ふるさとキャリア教育」の系統表を作成することによって、校種間でつながりのある「ふるさとキャリア教育」の推進を図る。

(4) とっとり発 ミリョク発見！親子でおしごと体験・見学ツアー（6月補正要求中）

- ・鳥取県にあるいろいろな仕事を体験したり、見学したりすることで、子どもたち自身が働くことの意味ややりがいを知り、自分の将来について深く考えるきっかけを提供する。
- ・鳥取県内のさまざまな企業について児童や保護者が知ることによって、鳥取県内の企業のよさについて認識する機会とする。

(5) 中学校でのワークショップ（トークセッション）の実施（6月補正要求中）

- ・中学生、大学生、地域の大人の三者が少人数のグループになって人生観や職業選択等について相互に語り合うワークショップを実施し、中学生が地域の人を知る機会を提供するとともに、ふるさとへの愛着や貢献意識の形成を図る。

(6) 鳥取県地域コーディネーターの養成（6月補正要求中）

- ・学校と地域をつなぐ「鳥取県地域コーディネーター」を養成する講習を実施して各中学校区に配置することで、ふるさと教育・体験活動・学校支援活動等を地域と学校が協働して進め、子どもたちの地域への愛着・貢献意識の形成を図る。